

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）
 「Earth, Planets and Space」誌の国際情報発信強化
 （課題番号：251001）

学術団体名：地球電磁気・地球惑星圏学会
 学術刊行物の名称：Earth, Planets and Space
 事業期間：平成25年度～平成29年度

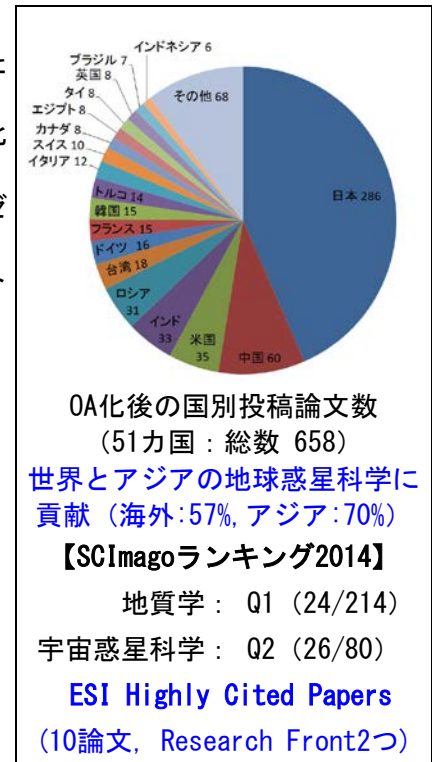
1 取組の概要

【取組内容の特徴と目的、意義及び方法】

欧文誌Earth, Planets and Space (EPS) は、長期的ビジョンにたって世界とアジアの地球惑星科学の発展に寄与することを目的として刊行されている。本取組は、EPS誌の国際的な情報発信能力を強化するため、完全オープンアクセス（OA）化、特集号の重点化、レターの重点化などを進める。これらの取組を通してEPS誌の国際プレゼンスを高め、日本のみならず世界から優良な論文が投稿されるようにつとめる。EPS誌は、日本が主導する国際的大型研究プロジェクトや災害を引き起こす自然現象の解明につながる研究成果などについて、海外の学術誌に依存することなく包括かつ機動的に日本から情報発信する場を提供する。このような学術活動を強力にサポートする点において、本取組は特に意義深い。

【応募時に設定した取組の目標・評価指標】

- (1) 完全OA化
- (2) インパクトファクター（IF） 1.5以上（H26年）
- (3) 年間論文投稿数 220編以上
- (4) 査読・編集の迅速化 6ヶ月以下（投稿から掲載まで）
- (5) 特集号の重点化
- (6) レターの重点化 レター掲載比率50%（H29年）
- (7) テーマ付けによる情報発信強化
- (8) 日本地球惑星科学連合（JpGU）との連携



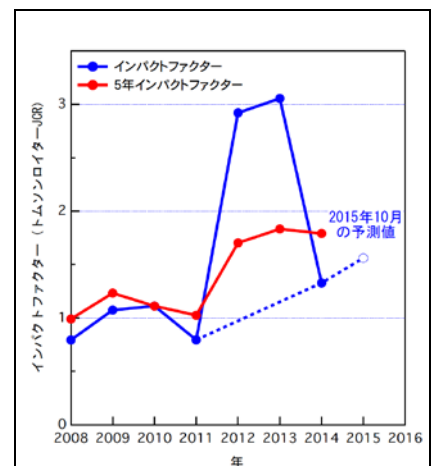
2 目標の達成状況

【現在までの目標の達成状況（平成27年10月9日現在）】

- (1) 完全OA化 完了（H26年1月より）
- (2) IF値 3.06（H25年）、1.33（H26年）を達成
- (3) 年間論文投稿数 272編（H25年）、297編（H26年）を達成
- (4) 査読・編集の迅速化 平均5.2ヶ月（H27年4～9月）を達成
- (5) 特集号の重点化 14テーマ（投稿論文数298；OA化以降）
- (6) レターの重点化 招待論文「フロンティアレター」を新設
論文掲載料優遇（特集号）
レター掲載比率48%（H26年）
- (7) テーマ付け 「テクニカルレポート」を新設
- (8) JpGUとの連携 広報協力、委員の相互派遣

【今後の計画】

- (1) 編集体制の再構築
- (2) IF値1.8にむけた審査基準の厳格化
- (3) 海外著名著者招待によるフロンティアレターの充実
- (4) レターの論文掲載料割引率改訂によるレターの重点化
- (5) レター重点化に向けた査読期間短縮措置
- (6) JpGUとの連携強化、JpGU・出版社と広報連動による論文の質・数の上昇と国際プレゼンス向上



EPS誌のIF値の変遷

※2012-2013年の大幅な上昇はOAとなった東北地方太平洋沖地震特集号（2011年7月号）の貢献による